



2014 年 (平成 26 年) 6 月 **74号**

CONTENTS

• トピックス

- 中医協 14 年度改定の結果検証、後発医薬品など
12 項目を調査 1

• リレー随想 (小川 正樹) 3

• お知らせ

- 2014 年度環境ポスター・キャッチコピー入選作品について 5
2014 年度環境ポスター・キャッチコピー最優秀賞受賞者より ... 6
2014 年度環境ポスター・キャッチコピー最優秀賞作品 7
慶應義塾大学薬学部 将来像セミナー 8
第 61 回北海道薬学大会 9
台湾におけるジェネリック医薬品の将来動向に関する国際会議
International Conference for Future Trends of Generic Drugs 11
平成 25 年度第 3 四半期のジェネリック医薬品シェア分析
結果について 12
正会員の入会について 13

• 第 47 回定期総会報告 14

• 第 47 回定期総会懇親会報告 15

• 賛助会員から

- コーア商事株式会社 16

• 活動案内 18



中医協 14年度改定の結果検証、 後発医薬品など12項目を調査

中医協・診療報酬改定結果検証部会（部会長＝松原由美・明治安田生命福祉研究所主席研究員）が5月14日開かれ、2014年度診療報酬改定の影響を検証する特別調査の項目を決めた。

後発医薬品の使用促進策の影響と実施状況や同一建物同一日の訪問診療・在宅薬剤管理指導の適正化、主治医機能の評価新設など計12項目が上がる。今後、調査票の検討や調査客体の選定などの実施準備を進める。引き続き同日開かれた中医協総会で調査項目は了承された。

◇後発医薬品は14、15年度の2カ年調査

12項目のうち、後発医薬品調査のみ14、15年度の2カ年で行い、その他11項目は14年度もしくは15年度の単年度で行う。

14年度診療報酬改定で、後発医薬品調剤体制加算は、旧指標で22%以上（5点）、30%以上（15点）、35%以上（19点）の3段階だったのを4月以降は、分母から後発医薬品のない医薬品を除いた新指標に改めた上で、加算要件の調剤割合を引き上げるとともに2段階の評価に集約。調剤率が55%以上は18点、65%以上は22点と加算の要件を厳しくした。

今回の後発医薬品の調査では、今改定で後発医薬品調剤体制加算を3段階から2段階に絞り込んだ影響などを検証する。

また初収載時の後発医薬品の薬価を先発医薬品の原則6掛け、内用薬の10品目を超えるものに限り5掛け、価格帯は3つに集約した見直しが医療現場に与える影響も見る。

◇一般名処方の受付状況など調査項目

調査客体は保険薬局、保険医療機関、患者で客体数は今後詰める。主な調査

項目は▽保険薬局で受け付けた処方せんについて、「一般名処方」の記載された処方せんの受付状況▽「後発医薬品への変更不可」欄への処方医の署名の状況▽保険薬局における後発医薬品への変更調剤の状況▽医薬品の備蓄及び廃棄の状況▽後発医薬品についての患者への説明状況▽後発医薬品に変更することによる薬剤料の変化▽保険医療機関（入院・外来）における後発医薬品の使用状況▽後発医薬品の使用に関する医師、薬剤師及び患者の意識—などとした。

11項目のうち、▽後発医薬品の使用促進策の影響と実施状況▽適切な向精神薬使用の推進や精神疾患患者の地域移行と地域定着の推進等を含む精神医療の実施状況—など 5 項目は14年度に調査を実施する。

7～9月の調査票の作成後、項目ごとに順次8～12月にかけて調査を始める。15年1月以降、調査結果（速報）がまとまった項目から順次、基本問題小委や総会に報告する。後発医薬品については、15年度も結果検証の調査を行う。

◇調剤報酬引き下げの影響も調査

12項目のうち同一建物同一日の訪問診療等の適正化による影響については、報酬の大幅な減算によって集合住宅での訪問診療の医師の確保を懸念する声が挙がっているため、現場の実態を早期に把握するため、ほかの調査項目より前倒しして調査を実施する。

7月にも調査票を取りまとめ、8～9月にかけて調査を行う。10月にも調査結果（速報）を診療報酬基本問題小委員会や総会に報告する予定。

14年度調剤報酬改定で報酬の引き下げと保険薬剤師1人につき1日5回の算定限度が付いた同一建物居住者に対する在宅患者訪問薬剤管理指導の実施状況や対象患者の病態なども調べる。



趣味のスピンオフ

同仁医薬化工株式会社

小 川 正 樹

私の趣味はもうかれこれ40年近く続けているテニスである。継続は力なりの言葉とおり私の健康を支えてくれる強力な武器となっている。

そもそも大学までスポーツというものに背を向けていた私が体を動かすことに興味を持ったのは、会社勤めを始めたころブームであったスキーに誘われ、それにのめり込んだことから始まった。当時休みは日曜だけの時代、スキー板を担いで土曜の夜行列車に飛び乗り、日曜日一杯滑るということを繰り返し、最後にはその頃珍しかった海外スキーツアーにまで参加した。そしてオフシーズンに上手になるために一番必要なこと、すなわち足腰を鍛える為にテニスを始めた。

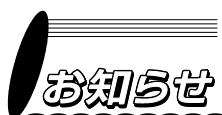
スクールにも通わず、ひたすら上手な人の打ち方を真似しながら40年間近くやってきたが、当然腕前は本格的にやってきた人にはかなわない中級程度であるが、クラブ内ではすこぶる都合の良いポジションである。上級者からも初心者からも試合のお誘いがかかり、短時間に効率よく試合をこなせ十分体を動かすことができる。もともと身体を動かすことが主目的なので、クラブ対抗とか市民大会等の待ち時間が多いイベントには一切参加せず、週末の午前中目一杯体を動かし、家に帰ってシャワーを浴びて飲むビールが格別で、後はゆっくり身体を休めながら家のことを片付けるのが習慣となっている。ただ去年は五十肩を患い、半年ばかりサーブやハイボレー等を打てなくなったが、それでも組んだパートナーには謝りつつコートに通いとおした。

しかし、インドアテニスクラブでないのも雨となると途端に暇を持て余す。そこで、週末の天気予報によってはテニス以外の計画も必要となる。妻も心得たもので、美術館、史跡巡りの類を普段より情報収集してくれていて大いに助かる。そんな中、今年1月初めてバレエ鑑賞をした。妻の友人から当日都合が

悪くなったとかでキエフバレエ団の券を譲り受けたものであった。この券にはちょっとしたおまけがついていて、開演前の基礎練習風景を眺めながらバレエ鑑賞の楽しみ方を解説してもらえる初心者には嬉しい企画付であった。踊りの中には、物語とは全く関係ない踊り（間繋ぎ）が組み込まれているとか、魅せどころでの必見ポイントはどこかとか、眺めている基礎練習でコーチは何を指導するのかなど懇切丁寧な解説のおかげで、午後の本番「白鳥の湖」は舞台前で奏でる国立ウクライナ歌劇交響楽団の素晴らしい生演奏とともに十分堪能できた。結局お昼を挟んで夕方まではほぼ半日の鑑賞で、どれもこれも飽きることなく楽しめた。それからわずか半年、国家分裂危機騒動のニュースを垣間見るとき、今あの人たちはどのように過ごしているのだろうと頭をよぎる・・・

音楽鑑賞はなんと言っても生演奏がベストの持論、私の住む町の地元アマチュア交響楽団、時々ホルンの音が出遅れたりするが、それはご愛嬌で年 2 回の定期演奏会を楽しみにしている。またそこに聴きに行けば新たな曲を知りたい機会でもある。最近はおつぱら備蓄の CD・MD を聴くだけであったが、昨年珍しく 2 枚の CD を購入した。その動機は佐村河内氏の NHK 特集を見てのことである。まず「交響曲 HIROSHIMA」を購入、それはマウラ好きな私には結構ピッタシ合った。2 枚目は前述の地元交響楽団の定期演奏会にゲスト出演したヴァイオリニスト石川寛子さんの CD である。彼女が東日本大震災の復興のための演奏会でよく弾いている「バイオリンのためのソネチネ」が入っていたからである。この曲はご存知ソチオリンピックで高橋選手がショートプログラムに使った楽曲である。両曲とも素晴らしく、まさかその後世間を騒がし、さらにその後私をびっくりさせるものになるとは思わなかった。私にとって素敵な両曲なので、今も車運転中の BGM としてよく聴いておりゴーストライター問題とは関係ないことであった。でもどんな人が作曲したのか興味が沸きつつあるところに、とうとう本人登場。あれどこかで会った記憶が？それもそのはず、彼はこの地元交響楽団を何年間か指揮していたことがあり、その当時観客席からの拍手に何度も答えている指揮者、彼の顔が記憶に残っていたからである。ありゃまあ、こんな身近な人だったとは・・・

次号は、日本薬品工業株式会社の嶋田社長にお願いします。



2014年度環境ポスター・キャッチコピー入選作品について

先般当協会におきまして、広く公募いたしました「日本ジェネリック製薬協会 環境ポスター・キャッチコピー」につきまして、当協会環境委員会にて、700点を超える応募作品の中から厳正な審査の結果、以下の作品が入選作品として選出され、4月度理事会にて承認されました。

たくさんのご応募ありがとうございました。

☆最優秀賞

「みんなの笑顔と地球の笑顔 明日の未来へ ジェネリック医薬品」

高田製薬株式会社

増田 純也

★佳作

「かけがえのない地球のために あなたとともに歩みます ジェネリック医薬品」

沢井製薬株式会社

杉原 正久

★佳作

「守ってあげたい あなたのことも地球のことも ジェネリック医薬品」

沢井製薬株式会社

斎藤 秀之

★佳作

「これからも守り続けていきたい あなたと地球を ジェネリック医薬品」

沢井製薬株式会社

末石 美砂子

★佳作

「守ります あなたと地球の健康を、ジェネリック医薬品」

ニプロファーマ株式会社

三原 理恵

● 2014 年度 環境ポスター・キャッチコピー最優秀賞受賞者より

キャッチコピーで伝えたいこと

高田製薬株式会社
増田 純也

毎年キャッチコピーへの応募をさせていただいていましたが、今回初めて入選し、さらに最優秀賞という素晴らしい賞をいただきましたこと誠にありがとうございました。

さて、「地球環境」から真先に頭に浮かんだことは、近年、全国各地で最高気温更新のニュースを耳にしていたことでした。

昨年の夏は、記録的な猛暑と度重なる大雨といった異常気象に見舞われました。

このような内容のニュースは、喜ばしいことではなく、地球環境問題の深刻化に拍車をかけていると感じます。

日々深刻化する地球環境問題について、どのように取り組むのか、私たち自身が危機的な状況にならないため、理解しにくい現状かもしれません。

しかし、将来的にはもっと深刻な問題になると思われるため、このことを真剣に受け止め、行動しなければならないと思います。

他人ごとではなく、地球環境改善活動を真剣に取り組み、病に苦しむ方々の健康と笑顔を取り戻し、笑顔であふれる未来のために、今回のキャッチコピー『みんなの笑顔と地球の笑顔 明日の未来へ ジェネリック医薬品』を思いつきました。

このキャッチコピーで、日本ジェネリック製薬協会の会員各社が、人々の健康と地球環境改善活動に気を配り活動していることを、少しでも多くの方々に知っていただけると幸いです。



第47回定期総会懇親会にて
吉田会長より授与

● 2014年度 環境ポスター・キャッチコピー最優秀賞作品



Japan Generic Medicines Association
日本ジェネリック製薬協会
日本ジェネリック製薬協会は
環境問題に取り組んでいます



みんなの笑顔と地球の笑顔

明日の未来へ
ジェネリック医薬品



☆慶應義塾大学薬学部 将来像セミナー 講師派遣

■会期：平成 26 年 5 月 15 日（木）

■会場：慶應義塾大学薬学部芝共立キャンパス（東京都港区）

昨年に引き続き、慶應義塾大学薬学部生を対象とした「将来像セミナー」に参加しました。先方からの講義内容としては「薬学部生の活躍できる職種、求められる資質」について依頼があり、昨年は 3 年生、4 年生が参加し 50 名強の参加がありましたが、今年は 4 年生の授業と重なった様子で、3 年生のみ 20 名の参加となりました。



慶應の薬学部の学生は研究開発職を目指す割合が 7 割程度と他の薬科大学の 6 年生の学生と比べると高いのが特徴と思われます。

その為、今回はジェネリック医薬品の事は触れる程度で、薬にまつわる業界がどのようになっている、メーカーに就職する場合、先発メーカーに向いている人、ジェネリックメーカーに向いている人などを具体的に話し、かつ開発職と研究職の違いなども説明しました。さらに具体的に薬学部出身の先輩社員のいる部署がどのような仕事をしているか、そして求められる資質がどのようなものかのパートについては、皆さん特に真剣に耳を傾けていた様子でした。

講演会後も数名の学生から、色々と質問を受け、結果質疑応答だけで約 1 時間対応。その質疑応答の内容から、大学側より再度テーマを変え「製薬メーカーの仕事の内容と働く場合の適正について」（仮題）として改めて講義をして欲しいとの要望をいただきました。

☆第61回北海道薬学大会 セミナー・展示

■会期：平成 26 年 5 月 24 日（土）～ 25 日（日） 2 日間

■会場：札幌コンベンションセンター（札幌市）

本大会には北海道の病院薬剤師会、薬剤師会、薬学会から毎年多くの方が参加されています。24日（土）は当協会共催のスイーツセミナーが開催されました。セミナーは2部制になっており、それぞれ目的を持って参加できるように企画されています。

第1部は北海道薬科大学の野呂瀬崇彦先生にコーディネートしていただき、「患者さんから見たジェネリック医薬品」～患者さん、薬剤師、医療系学生が求めること、求められること～をテーマにワークショップが行われ、約100名の参加者（薬剤師、薬学生、患者、医療系学生）が16のテーブルでジェネリック医薬品のイメージや現場の課題、またメーカーに関する要望等、広い角度から議論されました。

第2部はジェネリック医薬品の使用促進をテーマに3つの講演が行われました（参加者約170名）。

講演 1. 「全国健康保険協会（協会けんぽ）のジェネリック医薬品使用促進の取り組みについて」

講師：全国健康保険協会北海道支部 支部長 宮間利一氏

講演 2. 「ジェネリック医薬品調剤の現状～保険薬局の立場から～」

講師：管理薬剤師 引地一宏先生

講演 3. 「保険薬局お仕事ブラッシュアップ!!～さらなるジェネリック医薬品使用促進のために～」

講師：北海道女性薬剤師会 会長 山口路子先生

講演 1 では協会けんぽの現状（保険料率の 2 % 近い引き上げ等）、ジェネリックの使用促進の取り組み状況（差額通知の実施）やその成果が説明されました。

講演 2 では調剤薬局の立場から、変更不可処方箋の課題、在庫の問題、ジェネリック医薬品の選択方法、メーカーへの付加価値製剤の要望等を話され、全ての処方が一般名処方になれば、さらなる使用促進につながるとおっしゃって

いました。

講演 3 ではジェネリック医薬品の定義から業界の取組み状況や業界への要望、使用促進には何が必要か、薬剤師の役割等、幅広い角度から講演されました。山口先生はジェネリック医薬品の製剤工夫や視認性等への取組みも高く評価されていました。

今回のセミナーは薬学大会の中で12:30から16:00と貴重な時間をいただき、薬学生から薬剤師の先生まで多くの方にジェネリック医薬品の使用意義を含めて、理解を深めていただいたと思います。ご協力をいただいた北海道薬剤師会の皆様、演者の先生方、また本セミナーをコーディネートして頂いた野呂瀬先生、山口先生に深く感謝いたします。

当協会の展示ブースにも多くの先生や学生の方が訪れ、ジェネリック医薬品の品質面や情報提供、教育資材、診療報酬に至るものまで、様々な質問がなされていました。



☆台湾におけるジェネリック医薬品の将来動向に関する国際会議 演者派遣
International Conference for Future Trends of Generic Drugs

■会期：平成 26 年 5 月 29 日（木）～ 30 日（金） 2 日間

■会場：NTUH International Convention Center（台北）

この会議は、台湾食品薬物管理署（TFDA）と台湾ジェネリック製薬協会（TGPA）の共催、GE 薬協、欧州ジェネリック製薬協会（EGA）などの協賛により行われたものです。参加者は 12 カ国から約 300 名を数え、盛大に開催されました。日本からは、PMDA から 4 名、GE 薬協から 4 名が参加しました。

会議中、PMDA 一般薬等審査部審査専門員栗林亮佑氏から、日本におけるジェネリック医薬品の承認審査についての講演があり、終了後、多くの参加者から質問が寄せられ、日本のジェネリック医薬品の承認制度についての関心が高いことがわかりました。

GE 薬協からは、東和薬品株式会社品質保証部長の長村聡仁氏及び協会国際部長の菱倉武史の 2 名より講演がありました。長村氏からは、ジェネリック医薬品に関する、とりわけ品質向上に向けたアクションプログラム以降の協会の種々の取り組みについて紹介がありました。

また、菱倉からは、日本の医療費推移の実態、厚生労働省が昨年発表した「後発医薬品のさらなる使用推進のためのロードマップ」の紹介、日本市場に関する動きなどの紹介がありました。



☆平成25年度第3四半期のジェネリック医薬品シェア分析結果について

平成25年度第3四半期のジェネリック医薬品シェア分析結果（速報値）が以下の通りまとまりましたので、ご案内申し上げます。

●平成25年度第3四半期（10月～12月）のジェネリック医薬品（GE医薬品）のシェア分析結果（新指標^{*1}、速報値）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期
数量	43.1%	43.1%	44.9%

【参考】

旧指標^{*2}によるこれまでのジェネリック医薬品のシェア分析結果

（1）四半期ごとの分析結果〔速報値〕

	平成 24 年度				平成 25 年度		
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q
数量	25.3%	25.4%	26.1%	26.5%	26.6%	26.7%	27.8%
金額（薬価ベース）	10.3%	10.5%	10.7%	10.9%	10.9%	11.1%	11.4%

Q：四半期

（2）年度ごとの分析結果

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
出荷数量	23.0%	23.3%	25.8%
金額（薬価ベース）	9.4%	9.6%	10.5%

（注）・本資料中の分析結果値は、日本ジェネリック製薬協会が一部IMSデータを使用し調査したもの。

- ・四半期ごとの値は、協会理事・監事会社等を対象とした調査結果及び一部IMSのデータを基に推計した速報値である。

(3) 用語の説明

* 1 新指標：

$$[\text{GE 医薬品のシェア}] = \frac{[\text{GE 医薬品の数量}]}{[\text{GE 医薬品のある先発医薬品の数量}] + [\text{GE 医薬品の数量}]}$$

——「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」（H25.4 厚生労働省）で提示された算出方法

* 2 旧指標：

$$[\text{GE 医薬品のシェア}] = \frac{[\text{GE 医薬品の数量}]}{[\text{すべての医薬品の数量}]}$$

——「後発医薬品の安心使用促進アクションプログラム」（H19.10 厚生労働省）で使用されていた算出方法

【問い合わせ先】

日本ジェネリック製薬協会

電話 03-3279-1890

・総務委員長 田中俊幸

・理事長 伏見 環

☆正会員の入会について

5 月度理事会において、下記のとおり入会（正会員）が承認されましたのでお知らせ致します。

社 名：株式会社ローマン工業

所在地：東京都品川区中延 2 丁目 1 7 番 1 1 号

代表者：代表取締役 平森 基起

第47回定期総会報告

5月28日 ザ・プリンス パークタワー東京において、第47回定期総会が開催されましたので、付議事項についてお知らせいたします。

出席者：出席35社、委任状出席1社、欠席4社。

第1号議案 平成25年度事業報告承認に関する件

第1号議案について、各常設委員長等より提出された事業報告について、各委員長より説明・報告を行いました。その後、議長より議場に諮ったところ、異議なく原案どおり承認可決されました。

第2号議案 平成25年度会計決算報告承認並びに監査報告に関する件

第2号議案について、松元常務理事より決算報告の説明、稲岡監事より監査報告についての説明の後、議長より議場に諮ったところ、異議なく原案どおり承認可決されました。

議事終了後、厚生労働省医政局 城 克文 経済課長より、「医薬品産業を巡る現状と課題」について講演をいただきました。



（定期総会）

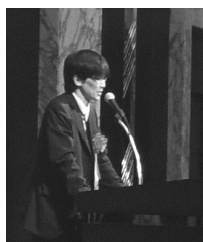
第47回定期総会懇親会報告

総会に引き続き別室にて懇親会が開催され、吉田会長の挨拶に続き、厚生労働省、日本製薬団体連合会、日本医師会、日本薬剤師会の各団体代表、参議院議員 藤井基之氏の来賓祝辞があり、続いて2014年度環境ポスター・キャッチコピー最優秀者（高田製薬株式会社 増田純也氏）の表彰のあと、田村副会長の乾杯の発声により懇親会に入りました。

懇親会には、厚生労働省、独立行政法人医薬品医療機器総合機構、関係団体、業界紙など、会員、来賓を含め160名を超える参加があり、盛会裡に終了いたしました。



吉田 G E 薬協会長



厚労省城経済課長



木村日薬連理事長



中川医師会副会長



児玉薬剤師会会長



藤井参議院議員



田村 G E 薬協副会長



澤井 G E 薬協副会長

●賛助会員から

コア商事株式会社

コア商事は平成 3 年（1991 年）創業より 23 年間、一貫してジェネリック医薬品原料の輸入販売商社として活動을續けてまいりました。その当時は、まだ我が国ではジェネリック医薬品という分野の一般的な認識は有りませんでした。私どもコア商事は、将来わが国でもジェネリック医薬品が必要とされる時代が必ずやって来るとの信念のもとに発足いたしました。

最近ではようやくジェネリック医薬品の認識も高まり、徐々にその市場も拡大しつつあります。

今後わが国では超高齢者社会に向かって医療費の増加を抑えるべく政策として様々なジェネリック医薬品使用促進策が発せられ、さらに市場の拡大が予想されておりますが、一方では薬価低減、安定供給、高品質基準というジェネリック医薬品へ対するコスト削減と同時に相対する信頼性も強く求められております。

こうした厳しい要求に対して解決していく事が、我々が日本ジェネリック製薬協会の皆様と共に目指すべき目標でもあります。私どもコア商事としても、協会の会員として他の会員の方々へ、少しでも貢献させて頂ければと願っております。

原料の品質においても、これまで以上の厳しい要求が課せられる事になり、さらに P I C / S 加盟に向け、GMP ガイドラインのグローバルな基準設置への対応として、製品のみならず原薬メーカーの管理・原薬の安定性の確保などについて、我々原薬輸入商社としてはより一層品質の管理・向上への対応が必要となつてまいります。

こうした厳しい環境に対応するために最も有効な対策は、優良原薬の調達先の選択というものが最も重要であると考えております。

コア商事は平成 21 年に分析センター開設して以来、従来の原薬受け入れ試験に加えて、新たに新規検査設備の導入および人員の増強により、各製販様からのご要望に合致した原料の調査及びご提供を工夫しており、また定期的に原料をお届けさせて頂くよう努めさせて頂きます。

引き続きコア商事はジェネリック製造販売業者様のベストパートナーとして皆様と共にジェネリック医薬品のさらなる普及を目指して邁進して行くつもりでありますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



コア商事株式会社医薬分析センター外観

コア商事株式会社

代表取締役社長 岡 澤 紘 一

|活|動|案|内|

<日 誌>

5 月 8 日	信頼性向上プロジェクト常任委員会	日本ジェネリック製薬協会会議室
"	知的財産研究委員会	"
5 月 9 日	総務委員会広報部会 J G A ニュース編集会議	"
5 月 13 日	総務委員会広報部会イベント講演グループ会議	"
"	薬価委員会正副委員長会議	"
5 月 14 日	MR 教育研修検討チーム	"
5 月 20 日	総務委員会総務部会	"
5 月 21 日	くすり相談委員会	東京八重洲ホール会議室
5 月 22 日	安全性委員会幹事会	日本ジェネリック製薬協会会議室
"	総務委員会広報部会グループリーダー会	東京薬貿ビル会議室
5 月 27 日	薬制委員会幹事会	日本ジェネリック製薬協会会議室
"	薬制委員会	東京八重洲ホール会議室
5 月 28 日	常任理事会・理事会	ザ・プリンス パークタワー東京
"	第47回定期総会	"
5 月 29 日	薬事関連連絡会	東京八重洲ホール会議室
5 月 30 日	薬価委員会正副委員長会議	日本ジェネリック製薬協会会議室
"	薬価委員会幹事会	"
"	薬価委員会	東京八重洲ホール会議室
"	環境委員会	日本ジェネリック製薬協会会議室

<今月の予定>

6 月 3 日	総務委員会広報部会イベント講演グループ会議	日本ジェネリック製薬協会会議室
6 月 5 日	50周年記念事業特別委員会記念式典委員会	"
6 月 9 日	総務委員会広報部会 J G A ニュース編集会議	"
6 月 10 日	薬価委員会正副委員長会議	"
"	総務委員会総務部会	"
6 月 11 日	総務委員会広報部会グループリーダー会	"
6 月 16 日	再評価委員会	"
6 月 17 日	薬事関連連絡会	東京八重洲ホール会議室
6 月 18 日	常任理事会・理事会	日本ジェネリック製薬協会会議室
"	品質委員会幹事会	東京八重洲ホール会議室
"	品質委員会	"
"	MR 教育研修検討チーム	"
6 月 20 日	国際委員会	日本ジェネリック製薬協会会議室
6 月 23 日	薬制委員会幹事会	"
6 月 24 日	安全性委員会幹事会	"
6 月 26 日	薬価委員会正副委員長会議	"
"	薬価委員会幹事会	"
"	流通適正化委員会	東京八重洲ホール会議室

／ 編 集 後 記 ．／

イコモスが「富岡製糸場と絹産業遺産群」を世界文化遺産に登録勧告というニュースが駆け抜けましたが、「富岡製糸場が世界遺産？？」との疑問が湧きました。そこで、世界遺産について調べてみました。世界遺産とは、地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと引き継がれてきたかけがえのない宝物であり、現在を生きる世界中の人びとが過去から引継ぎ、未来へと伝えていかなければならない人類共通の遺産です。世界遺産は、1972年の第17回ユネスコ総会で採択された世界遺産条約（正式には『世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約』：）の中で定義されています。2013年11月現在、世界遺産は981件（文化遺産759件、自然遺産193件、複合遺産29件）あり、条約締約国は190カ国だそうです。世界遺産には、「自然遺産」「文化遺産」「複合遺産」の3つがありますが、「富岡製糸場」は世界文化遺産の中の産業遺産に当たるもので、2007年に登録された「石見銀山とその文化的景観」と同じカテゴリーに分類されるようです。

富岡製糸場見学に行きましたが、TV等で取り上げられてから訪れる人が多いようで、私が訪れた日も来訪者20～30人ずつを集めてはボランティアガイドさんが建物等の案内(約40分)をするということが繰り返されていました。

広大な敷地に東繭倉庫、繰糸場、ブリュナ館などの建物が当時としては珍しい木骨レンガ積み工法で建てられており、建てられてから142年も経っていますが、建設当時の美しい外観を留めていました。また、外観だけでなく、工場内の衛生管理のため、レンガとセメントを利用して建物の下に排水溝が整備されているということにも驚きました。ガイドさんの説明にもありましたが、建設当時のままの姿を残しているのは、明治5年の創業開始以来、昭和62年の創業停止まで、経営者が何度も変わったり、世情が変わっても、その時々的情勢に対応出来たのは100年先を見据えた規模の建物だったことに加え、建設に携わった人びとの技術力の高さもあったとのことでした。製糸場というと女工哀史を思い浮かべる方が多いと思いますが、富岡製糸場は、器械製糸の普及のための技術者養成所として設立されたもので、全国から工女を募集し、伝習を終えた工女は出身地へ戻り、器械製糸の指導者になったとのこと。その労働環境も1日8時間労働で日曜日休日、夏休み、冬休みが10日間あり、病気になった際には工場内の診療所で診てもらえたという、近代的な制度で運用されていた官営工場でした。そのため、一等工女は当時の10代の女性の憧れの的でその姿は錦絵にも残っています。この点が民営工場の女工哀史とは一線を画すものだったようです。

世界文化遺産に登録勧告というニュースから疑問に思ったことについていろいろと調べるうちに、多くの事柄について知っているつもりでいたことが分かり、また初めて確認できたこともあり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。日々の業務にも今回の経験を活かして疑問に思ったことはそのままにせず、まずは調べてみようと思っています。

(I. K)

■ 編 集

日本ジェネリック製薬協会
総務委員会広報部会

■ 発 行

日本ジェネリック製薬協会

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-3-4

日本橋本町ビル7F

TEL:03-3279-1890 FAX:03-3241-2978

URL:www.jga.gr.jp